科目名	生化学	学年	類型・コース	単位数
		３年	自由選択５･工業(バイオとかがく)	２単位

学習の目　標	生体内での化学反応について理解し、三大栄養素である糖類・脂質・タンパク質に関する知識を身につける。各栄養素がもたらす作用を化学的に理解する。
教科書 副教材	主たる教材：好きになる生化学（講談社サイエンティフィック） 副教材：自作プリント

評　価	評価法	定期考査や小テスト、提出物の内容、授業に対する取り組みや意欲を総合的に評価します。特に定期考査では観点別の問題により、その状況を確認します。		
	評価観点の趣旨	a	知識・技術	基本となる物質や反応について理解しているか、小テストや定期考査で確認する。
		b	思考・判断・表現	物質や反応の作用・必要性を理解し、説明できるかを、授業中の発表や反応、課題レポート、定期考査で確認する
		c	主体的に学習に取り組む態度	授業に対する取り組みが主体的・意欲的であるかを、発表・反応・ノート・レポートから確認する
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、Cの３段階）および評点（1～10 の 10 段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの３段階）および評点（1～５の５段階）にまとめます。			

期	月	時数	学習項目・単元	学習内容	評価方法 a	評価方法 b	評価方法 c
1学期	4月	6	基礎知識 生体物質の水	生化学に必要な化学知識の復習、知識を定着させる 生体内での水の性質・生命維持の関連性を理解する	小テスト 定期考査	発表 反応 定期考査 課題レポート	発表 反応 ノート 課題レポート
	5月	8	糖類・脂質 中間考査	生体の維持・細胞の構成に重要な糖類や脂質の基本的構造や種類、性質について理解する			
	6月	8	アミノ酸 タンパク質	細胞の構成物質であるアミノ酸・単純タンパク質の基本的構造や種類、性質について理解する			
	7月	4	期末考査 １学期のまとめ	１学期の学習内容を確認し、生体維持に必要な水や糖・脂質タンパク質等の知識を定着させる			
夏休み							
2学期	9月	8	酵素	生体触媒の酵素をタンパク質としての視点から理解し、酵素の性質や反応について学ぶ	小テスト 定期考査	発表 反応 定期考査 課題レポート	発表 反応 ノート 課題レポート
	10月	8	核酸・タンパク質合成・中間考査	各案の構造や働きについて理解する。 ＤＮＡの働きやタンパク質合成の過程を理解する。			
	11月	8	遺伝子関連技術と物質生産	ＤＮＡを用いた技術の概要について学び、方法や特徴を理解する。			
	12月	4	期末考査 ２学期のまとめ	２学期の学習内容を確認し、知識を定着させる。			
冬休み							
3学期	1月	6	代謝	光合成や呼吸などについて知り、生体におけるエネルギー生産の流れを理解する。	小テスト	発表 反応 課題レポート	発表 反応 ノート 課題レポート
	2月						
	3月						

担当者からのメッセージ（学習方法など）
生体内を構成する物質について理解し、それらが体内でどのような働きをするか学びます。各単元で学ぶ内容は別の単元の内容にも関連するので、学んだ知識はしっかり身につけておくことが大切です。理解の状況によって前の範囲に戻ったり、今日的な内容も加えたりするため、教科書だけに頼らず、ノート・メモをしっかりとることを心掛けること。